

第28回

全国算数授業研究大会

子どもがアクティブになる瞬間・時間(とき)

期日

平成28年8月6日(土)・7日(日)・8日(月)

場所

筑波大学附属小学校

会費

8,000円(資料代含む)

*お弁当をご希望の方は、当日朝、食券をお求めください。

申込方法

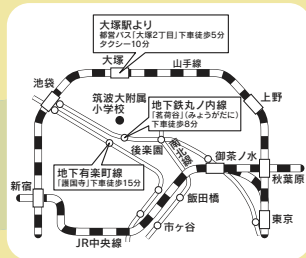
当日受付のみとします。
なお、先着1,000名までの資料は
ご用意しております。

問合せ先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
筑波大学附属小学校算数研究部内
全国算数授業研究会事務局 大野桂
FAX 03-3946-1897(算数研究部室直通)

路線図

茗荷谷駅より



●通用門側が入口となります。



昨年は1000人を
を超える参加者が。
「授業をみて語り合う」
本研究会、
今年もご参加を
お待ちしております!



全国算数授業研究会の夏の全国大会は今年で28回目になります。平成元年に第1回目を開催しましたので、本会の大会数は平成の年度と同じです。当時は、大人や研究者が主体となる算数の研究会が多かったことから、もっと現場教師ならではの視点から研究できる会も必要だと考えた手島勝朗氏(本会発起人・当時 筑波大学附属小学校)の呼びかけから始まったものです。合言葉は「授業を見て語り合う」でした。夏休みに実際に子どもたちに登校してもらって、生の授業を見せあい、互いの授業に厳しく意見を闘わせ合う。その姿は本当に迫力がありました。

第1回大会には、私も山口県の公立小学校の教員として参加しましたが、その刺激的な協議会に唖然としたのを今でもしっかり覚えています。あれから28年の月日が流れました。でも実はその頃から、本会がずっと求めてきたのは、いかに子どもの「問い」を導入で引き出し、子どもたちの活き活きとした瞬間をどのように連続させていくかでした。授業のスタートは子どもの「え?」という言葉や「なぜだろう」という事象への主体的な働きかけがあるかどうか、育った問いをどのようにつないでいくかに四苦八苦して公開授業に挑んできたのでした。今、新しい学習指導要領の方向性が見えつつありますが、その一つのキーワードであるアクティブラーニングも、原点は子どもたちの「問い」に支えられた授業づくりを実現することと同じなのではないでしょうか。

今年のテーマは、「子どもがアクティブになる瞬間・時間」としました。提案される一つの授業の中に、子どもたちの目の輝きが変わる時が、板書を見ながら考えている時の子どもたちの指の動き一つにも、彼らの学びがアクティブに変わる瞬間が見え隠れしているはずです。教師はそんな大切な瞬間をどのように見取り、授業の中で価値づけ育てていっているのでしょうか。今年は授業から目が離せなくなりそうです。いつもメモを熱心にとっている先生たち、それも大切ですが授業の中の小さな変化は耳で聞いていただけでは見えないものです。現場の先生ならではの感覚を活かした参観の仕方も今回のテーマでは大切になるかもしれません。

会長 田中博史



全国算数授業研究会 理事・幹事一覧

- ◆常任理事 田中博史、大野桂、尾崎正彦、佐藤純一、盛山隆雄、中田寿幸、夏坂哲志、前田一誠、毛利元一、柳瀬泰、山本良和
- ◆全国理事 江橋直治、岡田紘子、尾崎伸宏、加国希支男、工藤克己、河内麻衣子、小松信哉、千々岩芳朗、永田美奈子、中村潤一郎、平川賢、宮本規、山田剛史
- ◆総務幹事 熊谷純(中部上北教育委員会)、渡邊剛(八幡平市教育委員会)、早川健(常葉大学教育学部)、青木弘明(上越教育大学附属小)、間嶋哲(国立教育政策研究所)、松村隆年(静岡県立長北小)、中村浩司(山口県美祢市立秋吉小)、土居英一(高知市教育委員会)、永野由美子(高知市立神田小)、藤本邦昭(熊本市立池上小)
- ◆常任幹事 湯藤浩二(北海道幕別町立札内南小)、中村光晴(札幌市立山の手南小)、榎市芳文(青森県三戸町立三戸小)、阿保祐一(青森県八戸市立柏崎小)、前田華奈子(岩手県滝沢市立滝沢第二小)、横沢大(盛岡市立仁王小)、沼川卓也(盛岡市立手代森小)、倉田一広(秋田県湯沢市立雄勝中)、羽染聡(福島県)、関根哲宏(福島県棚倉町立棚倉小)、東郷佳子(茨城県つくばみらい市立福岡小)、小川和子(群馬県太田市立宝泉南小)、相墨多計士(埼玉県戸田市立笹目東小)、小泉友(東京都立川市立幸小)、尾形祐樹(東京都日野市立日野第五小)、石川大輔(荒川区立第一日暮里小)、一瀬孝仁(山梨大学)、角田大輔(甲府市立国母小)、中澤寛(長野県御代田町立御代田南小)、宮澤幸一(長野市立大豆島小)、榎根浩(新潟市立浜浦小)、唐澤恵(新潟県十日町市立田沢小)、植松仁(兵庫県尼崎市立武庫南小)、大畑智裕(静岡県富士市立広見小)、大桑政記(静岡県函南町立函南中)、中越進(静岡県三島市立錦田小)、三田美乃里(名古屋市教育局センター)、小谷祐二郎(和歌山大学教育学部附属小)、千葉修平(和歌山県田辺市立中芳養小)、樋口万太郎(京都教育大学附属桃山小)、直海知子(大阪府豊中市立熊野田小)、久保田健祐(兵庫県西宮市立広田小)、森滋彦(大津市立瀬田東小)、堀田徹志(滋賀県草津市立草津第二小)、西本靖司(鳥取県大山町立名和小)、村上幸人(島根県飯南町立志々小)、徳永勝俊(島根大学教育学部附属小)、山本浩史(広島県東広島市立豊栄小)、岩本充弘(広島県呉市立仁方小)、宮川修(山口県美祢市教育委員会)、森本隆史(山口大学教育学部附属山口小)、中川弘子(高知市立三里小)、近藤修史(高知大学教育学部附属小)、松山起也(高知大学教育学部附属小)、奥拓也(福岡県添田町立津野小)、高瀬大輔(福岡県川崎町立川崎小)、林田健一(長崎県諫早市飯盛西小)、百田止水(熊本県大津町立大津小)、林田晋(熊本市立帯山西小)、清水修(熊本市立川尻小)、小出水公宏(宮崎市立大久保小)、甲斐淳朗(宮崎大学教育文化学部附属小)、宮城和彦(日本女子大学附属豊明小)、竹尾智登(南山大学附属小)、木下幸夫(関西学院初等部)、時川郁夫(森村学園初等部)、吉村智美(国立学園小)、高橋正英(立命館小)、山本大貴(暁星小)

告知

第19回 冬季
全国算数授業研究大会高知大会

期日 平成28年12月24日(土) 場所 高知市立神田小学校

【問合せ先】

高知市立神田小学校長 永野由美子

TEL 088-832-6671

FAX 088-832-6672



全国算数授業研究大会

テーマ 子どもがアクティブになる瞬間・時間(とき)

期日: 平成28年8月6日(土)・7日(日)・8日(月)

場所: 筑波大学附属小学校

「暑い夏」には「熱い算数」を！
ノーネクタイで
ご参加ください。

1日目 8月6日(土) 12:30~16:00

12:00	受付	
12:30 }	基調提案	「算数は子どもをアクティブにする」 山本良和(筑波大学附属小)
13:10		
13:15 }	公開授業①	「かけ算の筆算」 授業者: 中田寿幸(筑波大学附属小) 児童: 筑波大学附属小3年
14:00		
14:05 }	研究協議会	司 会: 盛山隆雄(筑波大学附属小) パネラー: 佐藤純一(国立学園小) 藤本邦昭(熊本市立池上小)
14:50		
15:00 }	授業者決定	2日目の公開授業③の授業者を会場の投票で決定します。 (詳細は下記をご参照ください)
16:00		
16:00	事務連絡	
16:10	理事・幹事会	

2日目 公開授業③ 授業者候補

2日目午後の公開授業③の授業者を、1日目の授業者決定の時間に、会場の投票により決定します。3年、4年の候補者各4名のうち、授業者となるのは各2名。受付で配布する大会紀要にて候補者の授業案を公開いたします。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 3年「分数の導入」授業者候補
尾形祐樹(東京都日野市立日野第五小)
木下幸夫(関西学院初等部)
小泉友(東京都立川市立幸小)
山本大貴(暁星小) | <input type="checkbox"/> 4年「面積の導入」授業者候補
大桑政記(静岡県函南町立函南中)
大畑智裕(静岡県富士市立広見小)
小谷祐二郎(和歌山大学教育学部附属小)
森本隆史(山口大学教育学部附属山口小) |
|---|---|

2日目 8月7日(日) 9:00~16:20

8:00	受付	
9:00 }	公開授業②	3会場で授業3本を同時公開 左下のご案内の3本から、授業を選んでご参加ください。
9:45		
9:50 }	研究協議会	尾崎正彦 江橋直治 加固希支男
10:35		
10:50 }	ワークショップ Part 1	17本のワークショップを各2回開催 Part1、2では同一内容を行うので、 17本のうち2本にご参加いただけます。
11:20		
11:30 }	ワークショップ Part 2	
12:00		
12:00 }	昼食休憩 ポスターセッション	12:40~13:10 ポスターセッションを実施 (詳細は下記をご参照ください)
13:20		
13:10 }	公開授業③	3年、4年の授業各2本を同時公開 3年「分数の導入」、4年「面積の導入」 授業者は大会1日目に投票で決定
14:05		
14:10 }	研究協議会	司会(会場A): 中村潤一郎(千葉県多古町立多古第一小) (会場B): 岡田紘子(お茶の水女子大学附属小) (会場C): 河内麻衣子(豊島区立高南小) (会場D): 平川賢(千葉大学教育学部附属小) ※各会場でご参加の先生から各1名に、 パネラーとしてご登壇頂きます。
14:55		
15:05 }	シンポジウム	「アクティブ—その瞬間をどうしかけ、その瞬間をいかに深めるか—」 コーディネータ: 柳瀬泰(三鷹の森学園三鷹市立高山小) シンポジスト: 宮本博規(熊本市教育センター) 毛利元一(東京都教育庁指導部) 小松信哉(国立教育政策研究所)
16:20		
16:40	懇親会	

2日目 ワークショップ ご案内

- 一年生の『やる気』と『本気』を引き出すのは授業づくり
- 子どもの『えっ、なんで?』『~したい!』から始める算数授業
- ゴールから考える授業作り~まず教師がアクティブになろう!~
- 子どもたちがアクティブになる発問・指示
- 次の時間が楽しみ! 授業の後半で子どもがアクティブになるために
- 自力解決で多様な考えができるようにするために~実態に応じた工夫をしよう~
- 『解釈』と『共有』で授業づくり~アクティブ空間が続く授業にするために~
- 『子どもがアクティブになる瞬間』を発問から考える
- 3 stepでつくるアクティブな算数授業づくり~中身を転移させることがコツ~
- 子どもの『書きたい!』が生まれる授業づくり
- 子どもの言葉にアクティブの種がある!
- 子どもの実感と教師の価値付けで、子ども達がアクティブになる学習集団のつくり方
- かなり算数が苦手な学級を算数好きにする方法
- 子どもが最後までアクティブに動いた! 割合指導3つのポイント
- 自ら働きかける算数授業を創る
- どの子もアクティブに動き出すための授業の作り方~内言をもとに作る~
- Bb(バックボーン)授業構成法~自力で考え、友達と学び合う授業づくり~

3日目 8月8日(月) 9:00~16:00

8:00	受付	
9:00 }	公開授業④	1年「たしざん(2)」 授業者: 大野桂(筑波大学附属小) 児童: 筑波大学附属小1年
9:45		
9:50 }	研究協議会	司 会: 前田一誠(環太平洋大学) パネラー: 加固希支男(東京学芸大学附属小金井小) 山田剛史(東京学芸大学附属竹早小)
10:35		
10:50 }	大会企画本 執筆者講座	「算数授業をアクティブにするために」 本大会の企画本の5つのテーマに合わせた講座を開催。 ①子どもの興味をひきつける導入 ②子どもが1人で考える時間 ③考えを深める話し合い ④定着につながるまとめ ⑤板書・ノート指導
11:50		
11:50 }	昼食休憩	
13:15		
13:15 }	公開授業⑤	4年「資料の整理」 授業者: 夏坂哲志(筑波大学附属小) 児童: 筑波大学附属小4年
14:00		
14:05 }	研究協議会	司 会: 山本良和(筑波大学附属小) パネラー: 江橋直治(国立学園小) 柳瀬泰(三鷹の森学園三鷹市立高山小)
14:55		
15:00 }	講演	「子どもがアクティブになる瞬間・時間」 田中博史(筑波大学附属小)
16:00		

3日目 ポスターセッション参加者募集

第28回全国算数授業研究大会で、全国の先生方に向けてポスターセッションをしてみませんか。大会テーマである「子どもがアクティブになる瞬間・時間(とき)」に関する算数授業を模造紙1枚にまとめてご提案ください。発表したい方は、提案の概要を(A4)1枚にまとめ、データをお送りください。尚、ポスターセッションをされた方の中から第29回大会のワークショップの発表者をお願いする予定です。ポスターセッションの方法の詳細などについては、応募された方にメールでご連絡致します。

- 発表日時: 8月7日(日) 12:40~13:10
- 場 所 : 筑波大学附属小学校
- 応募先 : poster2016@yahoo.co.jp
(筑波大学附属小 盛山隆雄宛)
- 締め切り: 7月4日(月)

1日目 公開授業② ご案内

※各会場でご参加の先生から各1名に、パネラーとしてご登壇頂きます。

	公開授業②	研究協議会
会場A	3年「かけ算の筆算」 授業者: 尾崎正彦(関西大学初等部) 児童: 筑波大学附属小3年	司 会: 夏坂哲志(筑波大学附属小) パネラー: 山田剛史(東京学芸大学附属竹早小)
会場B	3年「かけ算」 授業者: 江橋直治(国立学園小) 児童: 国立学園小3年	司 会: 中田寿幸(筑波大学附属小) パネラー: 尾崎伸宏(成蹊小)
会場C	5年「小数のわり算」 授業者: 加固希支男(東京学芸大学附属小金井小) 児童: 東京学芸大学附属小金井小5年	司 会: 大野桂(筑波大学附属小) パネラー: 永田美奈子(雙葉小)